

まちづくり懇談会内容【公開用】

日 時：令和 2 年 11 月 4 日（水）18：30～20：03

場 所：緑丘公民館

出席者：11 人

1. 開会

2. 町長挨拶

※配布資料確認および日程説明

3. これからのまちづくり（資料 1 参照）

- ・栗山赤十字病院の改築について

4. 懇談

5. その他（情報提供）

（1）光回線の全面開通について

（2）栗山高等学校と介護福祉学校の状況について

（3）新型コロナウイルス感染症対策について（資料 2 参照）

- ・町民の皆さんへ新型コロナウイルス感染症の影響に対する支援一覧（資料 2－1 参照）

- ・事業者の皆さんへ新型コロナウイルス感染症の影響に対する支援一覧（資料 2－2 参照）

- ・新型コロナウイルス感染症の影響に伴う国民健康保険税・介護保険料・後期高齢者医療保険料の減免について（資料 2－3 参照）

（4）空き家の情報提供について

6. 閉会

《懇談内容》

【栗山赤十字病院の改築について】

町長：他の会場の意見をいくつか紹介すると、整形外科を午後診療してほしいという要望や、眼科、皮膚科、泌尿器科などの週 1 日の診療になっているので、常勤医を確保して、週 2 日診療できないかといった意見をいただいている。すべての意見を実現できるものではないが、一つでも実現できるように検討していきたい。

町民：建物の規模はどれくらいか。何階建てになるのか。

町長：まだ具体的な内容は決まっていないが、いろいろなコンサルタントが入ってきて、提案をしてもらっている。だいたい 3 階建ての病院になる。

町民：受付から外来診察室まで廊下の距離が長い。どうにかならないか。

町長：そういう意見は他の会場でもいただいている。外来までの動線など利便性も設計段階で考

えていきたい。

町民：今の栗山赤十字病院の収支はどうか。

町長：収支は、その年の患者数によって違うが、黒字の年や赤字の年がある。しかし、累積赤字が約 30 億円あるので、黒字の時は、累積赤字分を回収している。

町長：救急告示病院と不採算病院の補助金として、9700 万円を町が支出している。国からの補助もあり 2000 万円から 2500 万円を町が支援している。しかし、町が 9700 万円を出さなければ国からの 8 割補助が出ないことになっている。

町民：町で栗山赤十字病院に補助金を出しているのに、お金を出していない町の患者も来ている。

町長：入院患者、外来受診者の約 75%が町民。由仁と夕張が約 15%の割合。このような状況で他の町に抛出してほしいとはいえない。栗山からも長沼の病院に行っている町民もいるので、一概には言えない。

町民：古い病院だから、新しくなることはありがたい。

町長：建設中は、病院を休むことなく建設していく。病院の南側に新しい病院を建ててから古い病院を解体していく。建て替え後は駐車場も広くなる。

町長：今の薬局は道路を挟んでいるので、敷地内に移動してほしいという意見もある。

町民：私は、不便とは思わないが、高齢者は大変だと思う。

町長：薬局の場所については、法律上の問題がある。担当から説明する。

日赤改築室長：平成 6 年に、医薬分業の制度ができ、医者と薬剤師を分けた。院内から薬局がなくなった。院内の薬局は多くの薬剤をストックできない。人件費の問題。院内報酬など、経営が難しく、建物の外になった。また、道路をまたがないと薬局を建ててはならないということもあり、同じ敷地に薬局は建てられないことになっている。規制緩和してきているが、歩道に出ないと薬局が建てられない。その後、敷地内に薬局を建設してもよくなったが、経営は別にするようにということになった。

町長：今 3 件の薬局があるので、3 件とも敷地に入れるわけにはいかない。栗山赤十字病院とも話し合っていきたい。

町長：建て替えの問題で、一番問題になっているのが、移設建て替えの場合、解体費 6 億円が借入金の対象にならないということ。土地の取得費なども余分にかかることになるので、なかなか難しい。候補地として要望が出ているのは、栗山駅周辺や、栗山の地形上中間地点にあたる角田地区、富士の栗山由仁線の栗山町農産物検査場付近はどうかといった意見をいただいている。いろいろな意見を聞き検討していきたいが、現地での建て替えが有力ではないかと考えている。

町民：週 1 日診療なのは、費用の問題なのか。

町長：医師確保の問題になる。

町民：医師の報酬を上げれば、来てくれるということか。

町長：お金だけの問題でもない。

町長：今の病院の規模が適正なのかどうかを、国は考えている。町としては、病床数を減らす方向で考えている。栗山赤十字病院が、再編統合が必要な病院に入っていると報道されて驚かれたと思う。

町民：建て替えても現状と同じ病院になるのか。

町長：専門家を交えての検討となるが、同じ診療科を維持したい。他の会場からの意見で、今後の経営として、他の病院と連携して診療科を減らしてはどうかといった意見もある。

町民：経営として収益を出せる考え方が必要。例えば人間ドックをはじめてはどうか。

町長：人間ドックの診療報酬は高い。しかし、栗山赤十字病院で人間ドックを受けている人は少ない。1年に1回の検診なので、ある程度検査が充実している札幌などの病院に行く人が多い。

町民：栗山赤十字病院で人間ドックの受診を促すようなことを他の企業などにPRしてはどうか。

町長：人間ドックを充実するためには、検診控室の整備なども考えていきたい。

町民：せっかく新しくなるなら、そういった設備も充実してほしい。

町長：車がない人にとしてみると、週1回でもいいから、診療してほしいと考えるのかもしれない。

町長：小児科や眼科など、町内に個人病院があるところは連携をして、無い診療科を栗山赤十字病院が補うようにしていきたい。栗山は人口規模で考えると医療機関は多いと思う。

《質疑応答》

【その他（情報提供）】

町民：水道の断水で、水道管が破断してしまったのは仕方ないが、夜9時から翌朝まで断水が続いた。いつ復旧するかぐらいの情報は教えてほしかった。

町長：おそらく工事をしているのはわかるが、今どういう状況でいつ復旧するか連絡してほしいといったご指摘を受けている。これからは対応していきたい。

（上下水道課から質問者へ回答）

現場復旧を優先した結果、情報提供が不足しておりました。今後は復旧現場担当職員と役場待機職員間で随時連絡を取り合い、情報提供できるよう上下水道課内で共有しました。

町民：長谷川の沢の町道が、奥まで舗装になっていて、町道なので、冬場も除雪してもらっている。長谷川の沢のもう一つ上にある町道で、冬場除雪しない道路のことだが、舗装がかなり痛んで、道路がガタガタになっている箇所がある。走行するときに注意しないとタイヤがパンクしそうになる。現地確認して補修してほしい。

町長：担当に連絡し、近いうちに現地確認したい。全町から道路など補修の要望が来ているので、優先順位を付けて対応していきたい。

町民：冬場除雪しない道路で、春先に道路を開けてもらう町道。建設課に言えばおそらくわかると思う。

町長：栗山赤十字病院のコロナ検査について、情報提供がある。

日赤改築室長：11月9日から、建物右手にプレハブを設置し、発熱外来を開設した。午前中に電話で予約をし、午後からの診察となる。PCR検査自体はできないが、検体を採取して、検査に出すことができる。2日から5日くらいで検査結果が分かる。また、唾液採取して抗体を調べる抗原検査も行える。1時間くらいで検査結果が出る。発熱などの症状があつて、医師の判断で検査を受ける場合は国が費用を負担する。自分で検査をする場合は、自己負担になるのでPCR検査で2万円、抗原検査は7500円かかる。65歳以上の人が検査をする場合の補助制度を検討している。

町民：栗山赤十字病院に熱があるから診察してほしいとなったら、どうなるのか。

日赤改築室長：発熱の症状があれば、発熱外来で検査になる。

日赤改築室長：受診する場合はまず電話をしてほしい。風邪症状であっても、発熱があれば発熱外来の対応になる。

町民：その場合、受付はどこになるのか。

日赤改築室長：電話予約したときに、病院側から指示がある。おそらく車での待機になるか、救急外来での対応になる。

町民：小児の場合も同じか。

町長：まずは電話で確認をしてほしい。

町長：コロナの関係で、また自治会に回覧をお願いすることになる。

町民：回覧はFAX でお願いしたい。全戸に配るのは大変。

町長：そのように対応したい。

町民：住民保健課は日曜日でも窓口を開けているのか。

町長：日曜日でも住民保健課の窓口は開いているが、住民票などの手続きは事前予約が必要。

20：03 終了